

栄養やまぐち

(公社)山口県栄養士会

〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1番1号
山口県総合保健会館4F
TEL:083-932-8015 FAX:083-902-7156
ホームページアドレス: <http://www.yama-ei.com>

法人化30周年記念事業 記念講演会

実行委員 宮崎 紀子

平成26年5月31日に山口県総合保健会館にて法人化30周年記念講演会を開催いたしました。講演のテーマを「健康寿命を支える和食の力～健康寿命の延伸を目指して～」とし、講師には、学校法人服部学園、服部栄養専門学校理事長・校長で医学博士でもある服部幸應先生にお願いすることと致しました。

当日は400人を超える方が参加され、大変な賑わいで、急ぎよ開場時間を30分繰り上げて対応したほどでした。

服部先生の講演では、『食育』は、どんなものを食べたら安全か、危険か、健康になれるかということを選ぶ能力「選食能力」、家族がみんなで食べながら、子どもに色々なことを教えることで一般常識を持った子どもに育てる「衣食住の伝承」、そして「食糧問題と環境問題」の3つの柱が基本になっており、各家庭での幼少時代の「食卓教育」が特に重要であると述べられ、参加者たちはメモを取るなどして熱心に聞き入っていました。



先生が食育基本法に取り組み始められたきっかけは、24年前の栄養士・調理師を目指す短大生の食事の実態からでした。学校で2年かけて「食」について教え、知識を習得させても、毎日の短大生自身の食事のお粗末さに驚かれ、日々の実践が身につけていない現実に、幼い頃からの食体験不足を実感し、幼児教育の大切さを痛感したとのことでした。

つい半世紀くらい前まで日本は、農業国でしたが、今は工業国となっています。それは毎年、農業を辞める人が20万人、毎年、農業に新たに従事する人は6万人。すなわち、農業人口が毎年14万人ずつ減っていて、2030年には農業人口が0人になるという恐ろしい試算が出ています。食育は幼少時代、特に3歳から8歳までの期間の食卓教育が重要であると述べられ「100匹の魚を与えるより、釣り針と釣り糸の使い方を教えよ。」という言葉为例に家庭教育と学校教育の役割を語り、家庭と学校で

の一層の食育の推進を訴えられました。

また昨年12月に、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネス



コ無形文化遺産に登録されましたが、服部先生はその検討委員としてご尽力され、特に和食は一汁三菜を基本とし、理想的な栄養バランスである事を強くアピールされたそうです。

最後に、世界に必要な言葉としてみなさんに知っておいてほしい3つの言葉を教えていただきました。

①サステナビリティ（持続可能な社会）

地球は大切に使わないといけない。

②バイオダイバーシティ（生物多様性）

人間の作った農薬などによって菌も虫も、5,000種類くらいが毎年なくなっているという現実を知る。

③エコロジー（環境保護）

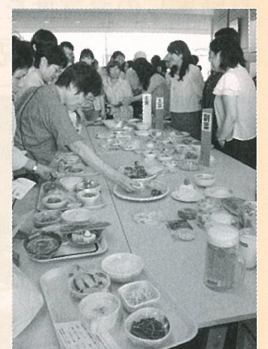
栄養士が県民の健康寿命の延伸のために関わる事業の根底にある大切な話であり、健康と関わりの深い、大変興味深い内容でした。

講演会の後、食育SATを使って、「あなたの食事バランス度チェック」として普段の食事の内容を振り返ってもらいました。

限られた時間の中ではありましたが、45名の方に参加していただき、各自の食事バランスについて、見直しをしていただくことが出来ました。

今回の講演は、実行委員だけでなく多くの会員の協力によって無事、盛大に行うことができ、大変感謝しております。

最後に今回の記念講演に際しまして、「県民の医療と健康を考える会」の協賛と、丸久グループの後援をいただきましたこと、賛助会員の皆様にご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。



記念式典

～過去から未来に続く節目として厳かに開催されました～



記念式典は、ご来賓や医療関係団体の皆様、栄養士・管理栄養士養成大学や長年にわたり

お世話になった関係者の方々とともに、100名以上の会員が参加し、ホテルニュータナカ平安の間において開催されました。

中村良子前会長の挨拶の後、本会の発展に多大なご尽力をいただいた歴代会長の和田サキ代様、松岡洋子様、長尾康子様に感謝状が贈呈されました。引き続き、本会の活動に長年にわたりご賛同いただき格別なご支援を賜っております賛助会員5社（協食、山口ヤクルト販売、大塚製菓、栗本五十市商店、コロニー協会）の方々に感謝状が贈呈されました。

記念式典担当代表 **田中 玲子**

山口県知事様を始め、山口県議会議長様、山口市長様、山口県医師会長様、(公社)日本栄養士会長様のご来賓の方々からは、長年の活動に対する賛辞に加え、食と栄養の必要性と今後一層の活動への期待のご祝辞を頂戴しました。

若さと元気さをお持ちの歴代会長の皆様に接し、栄養士の底力を実感しました。また、多くの皆様のご理解とご支援があってこそ今があり、将来に向けて一層の精進と活動をしなければならないと改めて気持ちが引き締まる記念式典となりました。



山口県栄養士会法人化30周年記念祝賀会

祝賀会担当代表 **有富 早苗**

えました。前日までどの写真にするか悩んでいらっしやった中谷新会長の姿が思い出されます。上映終了後、日本栄養士会の迫和子専務理事のご挨拶は、管理栄養士・栄養士の明るい将来が見える内容でした。

余興では宇部市で作成された「野菜350gのマーチ」の歌に合わせ、宇部地域専門部会の会員によるダンスで会場が大変盛り上がりしました。皆様に大好評で、迫専務理事からも日本栄養士会にぴったりの音楽だと、お褒めの言葉も頂き、企画して本当に良かったと思いました。最後に賛助会員を代表され、株式会社協食の中村一郎社長の万歳三唱により、幕を閉じました。



式典に続き御来賓の方々を含み約100名以上の参加者で、盛大に祝賀会が開催されました。中村前会長のご挨拶から始まり、山口県立大学の長坂祐二学長に心温まるお言葉を頂き、乾杯の音頭を取っていただきました。山口県医師会を始め6医療団体・賛助会員の7会社のご紹介後、各御来賓の方々より励ましのお言葉を頂きました。

中谷新会長より祝賀会のメインである「30年の歩み」のスライド上映と解説がありました。とても懐かしい方々の登場で、時代の流れが見



歩み」のスライド上映と解説がありました。とても懐かしい方々の登場で、時代の流れが見

平成26年度 通常総会報告

平成26年5月31日(土) 午前10時30分より山口総合保健会館にて平成26年度通常総会が開催されました。議長、書記、議事録署名人が選出された後、総社員数869人(3月31日現在)のうち、本人出席118人(理事を含む)、委任状提出358人合計476人で、定款第19条に基づき、定足数を満たし、総会成立の宣言がなされました。

その後、平成25年度事業報告及び決算報告・監査報告、定款の変更、(公社)山口県栄養士会平成26・27年度理事選任、(公社)日本栄養士会平成26・27年度代議員選任の4議案について厳粛に審議され、また、報告事項として、平成26年度事業

計画及び予算報告の件が報告されました。全議案とも可決承認され、総会は終了いたしました。(詳細は総会資料をご覧ください)



平成26年度 永年模範会員表彰

職 域	地 域	氏 名	所 属 先
学校健康教育	周 南	田 村 裕 子	周南市立栗屋学校給食センター
医 療	山 口	河 村 由 美	医療法人社団曙会佐々木外科病院
学校健康教育	山 口	高 橋 ゆ ふ	山口県教育庁学校安全・体育課
地 域 活 動	山 口	藤 井 幸 江	地域活動
地 域 活 動	山 口	藍 原 典 子	地域活動
医 療	宇 部	山 根 直 美	ともの園クリニック
医 療	宇 部	吉 田 悦 子	医療法人太白会シーサイド病院
医 療	宇 部	米 田 文 子	医療法人太白会シーサイド病院
学校健康教育	下 関	田 畑 昭 子	下関市立勝山中学校
学校健康教育	下 関	高 橋 文 枝	下関市立熊野小学校
学校健康教育	下 関	勝 原 妙 子	下関市立川中中学校
学校健康教育	下 関	藤 山 千代美	下関市立川棚小学校
学校健康教育	下 関	宮 川 幸 子	下関市立山の田小学校
学校健康教育	下 関	正 木 芳 江	下関市立豊浦小学校
学校健康教育	下 関	松 本 久 子	下関市立文関小学校
学校健康教育	下 関	福 川 克 江	山口県立下関中等教育学校
研 究 教 育	下 関	塩 田 博 子	下関短期大学
福 祉	下 関	松 宮 志 真	地域密着型介護老人福祉施設アイユウの苑
医 療	北 浦	武 井 貴代美	医療法人水の木会萩病院
医 療	北 浦	宇 野 厚 子	医療法人生山会齋木病院

皆様おめでとうございます。

新執行部紹介

(公社)山口県栄養士会会長就任挨拶

平成26年5月31日の理事会におきまして、公益社団法人山口県栄養士会会長に選任されましたので、一言ご挨拶をさせていただきます。

2年前に公益社団法人に移行し、中村良子前会長のリーダーシップの元、県民の健康づくりのために公益法人としてふさわしい各種研修会や講演会が開催され、その基礎を築いてきました。今年度も県民の健康づくりに会員の研修に計画に沿って、引き続き諸事業を推進してまいります。

今、少子化高齢化社会や地球の温暖化によると思われる異常気象など、管理栄養士・栄養士を取り巻く環境は著しく変化しています。

一つには健康増進法の健康日本21（第2次）による、健康寿命の延伸と生活習慣病の発症予防と重症化予防への対応。二つには介護保険法及び医療法改正による在宅介護や在宅医療の訪問栄養食事指導など施設から地域への転換。三つは、災害時の栄養・食生活支援です。

このように、管理栄養士・栄養士は社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められています。今年度から、新しく生涯教育がスタートしました。この生涯教育は、自身を評価し、到達目標を（コンピテンシー）を明確にして、専門知識の継続的な自己研鑽をめざします。それを日々の業務に活かし、新たな取り組みを実践するためにこの生涯

教育を活用していただきたいと思えます。

また、山口県栄養士会では、会員一人ひとりの意向を吸い上げて運営をしていくために、今以上にホームページの充実や、研修会、会報、職域や地域の活動に力を注ぎたいと思えます。会員の皆様からは良かったことや改善を要することなど、建設的なご意見やご感想をお寄せ下さい。

管理栄養士・栄養士はその専門性を活かし、職域事業部が7部、地域事業部が8部と他の職種にはない様々な職域で活躍しています。職域では他職種協働し、地域においては住民にと、栄養と食に関し様々は方法で栄養の指導がされています。常に今何をなすべきかを厳しく見極めながら、目的をもって事業に取り組まれた中村前会長の熱き思いを引継ぎ、新役員と共に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

栄養士会設立60周年、法人化30周年を大きな節目として、これからも食を通して人びとにより添い健康づくりに役立つ専門職として、2年間微力ながら一生懸命努力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



会長
中谷 昌子

公益社団法人 山口県栄養士会 役員(理事)体制

平成 26・27 年度

会長：中谷 昌子
副会長：吉田 弘子
副会長：加藤 元士

業務執行理事

総務部長
吉田 弘子

本会事業部長
宮崎 紀子

職域事業部長
木村 秀喜

地域事業部長
田中 光恵

学術事業部長
有富 早苗

組織・広報事業部長
福田 裕子

総務部委員
中谷 昌子
加藤 元士

事業運営委員
岡野 倫子
熊谷たまき
鳥飼 浩子

事業運営委員
松本 ふみ
長濱 美和
田辺のぶか

事業運営委員
林 若菜
末岡 靖子
中川 初美

事業運営委員
好中 千裕
鳥越 洋子
橋本 文江
河村 典子

事業運営委員
松野 友美
中野 律子
久保田朋子

新執行部紹介

Querer es poder. 「好きこそ物の上手なれ」

この度、山口県栄養士会の副会長として活動させて頂くことになりました。初めての
大役で不慣れな事ばかりですが、会長を補佐し山口県栄養士会がより発展できたらと考
えております。

私は、この春からスペイン語を学んでおり、覚えたことわざに Querer es poder. 「好
きこそ物の上手なれ」という言葉があります。日頃、学生には、「なぜ?」、「どうして?」
と栄養に興味関心を持ってもらい、自ら熱心に学んでいって欲しいと思っています。栄養士会の活動も、各々
が抱えている仕事や生活と両立するのは大変だと思いますが、各々が自らの「好き」を活かせる活動の場や
自らの「好き」をさらに伸ばせる場にして、上手くやっていけたらと考えています。

微力ながら精一杯努めさせていただきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



副会長
加藤 元士

活動を通してスキルアップを目指そう

公益法人に移行し、公益活動としての活動目的を考え、検討していく過程で「私たち
管理栄養士・栄養士の資格が持つ社会的使命」とは何か、「管理栄養士・栄養士にできる
こと」は何かを考え、話し合う機会が増えたのではないかと思います。

やはり私たちができることは、県民一人ひとりの豊かな生活の実現に向けて、その下
支えとなる「健康」を生涯を通して維持できるように支援していくことではないでしょ
うか。

会の活動を通して仲間と意見を交わすことでそのような認識を深めることもできました。活動に参加する
ことが会員にとってはスキルアップにつながり、活動自体は県民にとって役立つ、そんなウィンウィンの会
になるように運営を支援していきたいと思えます。



副会長
吉田 弘子

新業務執行理事

連携・協働と県民のニーズ

昨年度まで、本会事業部の一員であった私に、部長という大役が務まるか不安に感じ
ている今日この頃です。

先日の理事会で、理事の中から3名の部員が決定しました。昨年度の本会事業部の事
業は、部員と会員の皆様の力を合わせるにより無事成功しました。

本年度の事業も、会員の皆様の力をお借りし、県民の健康づくりのために、一緒に進
めてまいりたいと考えております。ぜひ、たくさんの方のご協力をいただきますようよろしくお願ひします。



本会事業部長
宮崎 紀子

「新職域事業部長・研究教育専門部会長」

公益法人になり、各種事業の企画運営等に制約を感じます。少しでも効率的で有意義
な事業が出来るようにお手伝いしたいと思っています。下関短大で公衆衛生学等を担当
し、唐戸魚食塾で食育ボランティアをしています。食事を通して「しあわせに」をモッ
トーとしています。栄養バランスと料理のバランスどちらも大切ですよね！



職域事業部長
木村 秀喜

新業務執行理事

「地域の特性を生かした活動を！」

この度、地域事業部の部長を務めることとなりました。何も分からず不安でいっぱいですが、与えられた責務を私なりに他の委員さんと協力し、遂行していきたいと思っております。「健康日本21」にもありますように、健やかで心豊かに生活できるように各地域の特性を生かした内容で魅力ある事業を運営できるように努めたいと思っております。よろしくお願いいたします。



地域事業部長
田中 光恵

「2年間よろしくお願いいたします。」

今期学術を担当させていただくことになりました。日本栄養士会も生涯教育制度が十分に確立していないままに開始されていますが、役員一同一致団結して努力をいたしますので、何卒よろしくお願いいたします。また、2月開催予定の研究発表会の演題について、皆様からの応募をお待ちしています。



学術部長
有富 早苗

「組織力がキーワード」

今期は組織・広報部を担当することになりました。広報部と言えば「栄養やまぐち」のイメージしかありませんが、本来は山口県栄養士会の組織力を維持していくのが1番の仕事として引継ぎがありました。会員の方の協力があって初めて活動が成立します。皆様の会ですのでご協力をよろしくお願いいたします。



組織・広報部長
福田 裕子

.....【今後の計画】.....

公開講座

日栄委託事業（牛乳に関するセミナー）

平成26年12月6日（土）

学術部

栄養士研究発表会

平成27年2月7日（土）予定

生涯教育研修会

基本研修

第2回 H26年 8月3日（日）

第3回 H26年10月5日（日）があります。



食育SATシステムの講習会を行います

平成26年7月25日（金） 13：45～15：45

山口県総合保健会館 第3研修室

学校健康教育専門部会が主催で行いますが、職域は問いません。会員は無料で講習を受けられますので、料理教室や食育セミナー等で、SATを使ってみたいと思われる方は、是非ご参加下さい。参加をご希望される方は、山口県栄養士会事務局までご連絡ください。

食育SATシステムはICタグを内蔵した実物大フードモデルを活用した体験型栄養教育システムです。

長い間ありがとうございました

山口県の栄養士会を担ってこられた中村良子前会長が5期10年の任期を終えられました。

幅広い活動をされ、多くの実績を残された中でも、平成18年には、「かむ・カム・ヘル歯レシピ集」の作成、平成19年には、介護予防事業の展開、平成20年にはやまぐち栄養ケア・ステーション事業にも力を入れられました。平成23年に開催された「おいでませ！山口国体」においても活動支援を行い、国体の成功にも貢献されました。このような活動により、平成25年には県選奨も受賞されておられます。



社会情勢の変化の激しい今日、広い視野で事業を展開され、「食を通じて健康支援を行う専門家＝栄養士」の活動の幅を広げてくださいました。

中村前会長の築いてくださった功績を大切に、さらに発展させてまいります。

【事務局からのお願い】

転勤・施設名・氏名・住所などの変更がありましたら、登録変更届をFAXもしくは郵送で山口県栄養士会事務局に提出してください。

(公社)山口県栄養士会

〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1番1号
山口県総合保健会館4F
TEL:083-932-8015 FAX:083-902-7156
ホームページアドレス:<http://www.yama-ei.com>

編集後記

「初めての 栄養やまぐち」

今年度より新会長のもと、地域も専門部も違う4名が組織・広報部の委員となり、この「栄養やまぐちVol.61」発行が初仕事となりました。前広報部の会員の方にご指導を頂きながら、新人の感性で精一杯頑張ります。

会員連携のツールとして「栄養やまぐち」が活用されるように、情報収集・発信に努めていきます。また、県民の食・健康増進向上に寄与できる幅広い内容も取り入れていきたいと思っております。

栄養士活動を発表することで、栄養士を「見える化」することができ、交流が生まれますので、会員の皆様の投稿、ご協力をよろしくお願い致します。

また、「載せてほしい情報・活動」などのご要望やご意見、ご感想をお寄せください。

Otsuka 大塚製薬

ベータ
朝の大麦β-グルカンが、
うれしい理由。

大麦に
豊富に含まれる
水溶性食物繊維

朝食と昼食の
糖質を
コントロール

空腹感を
抑えて、
食事の量を
マネジメント



朝食から始める、ヘルスマネジメント新習慣 **大麦生活**



半固形流動食の新たな形
EJシリーズ。

注出口の形状や容器の素材に考慮し、注出時の負担を軽減!



専用チューブとも簡単に接続できる、使いやすい形状



キャップはねじ切り式



手にやさしい柔軟な材質

TERUMO
人にやさしい医療へ



新パッケージになりました!

新発売

栄養機能食品(糖・亜鉛) [PGソフト EJ-F2ショット EJ-F2ライト-PGソフトA] 食生活は、主食、主菜、副菜を中心に食事のバランスを。

販売者 テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 <http://www.terumo.co.jp/>

©TERUMOはテルモ株式会社の登録商標です。PGソフト、PGウォーター、F2ショット、エアフューショット、F2ライト、エアフューライト、PGソフトA、PGソフトEースはテルモ株式会社の商標です。 ©テルモ株式会社 2012年1月

ガスで涼しく、ガスでおいしく!



山口合同ガスの涼しい厨房
「涼厨」シリーズ

快適 25℃以下の厨房環境で快適です。

経済的 空調にかかる消費電力を減らせます。

安心 熱くないからヤケドの心配がありません。

簡単 機器の入れ替えが簡単です。



山口合同ガス株式会社

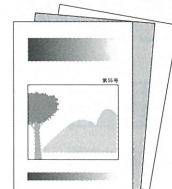
〒751-8508 下関市本町三丁目1番1号 ☎083-223-2115
<http://www.yamago-gas.co.jp/>

お宅に埋もれている原稿はございませんか?

チラシ・パンフレット等お気軽にご相談下さい。



様々な印刷物作成の
お手伝いを致します。



名刺・伝票・ハガキ・封筒から要覧・パンフ・報告書・研究室誌・写真集・
自分史にいたるまで、データ入力 (EXCEL・WORD) 他、あなたのご要望
に合わせて考えて参ります。お気軽にご相談下さい。



社会福祉法人 山口県コロニー協会経営
コロニー印刷

本部・工場 防府市大字台道長沢522
TEL (0835) 33-0100
FAX (0835) 32-2514